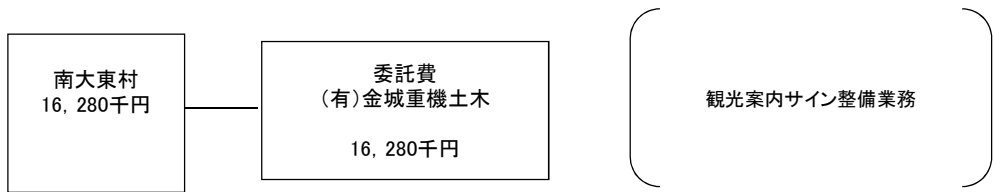


市町村名	南大東村						
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	観光案内看板整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部署名	産業課	事業実施(予定)年度	R3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	観光案内の看板が未整備で、観光地への誘導が不十分であることから、各所に案内看板を設置し観光客の受入環境を整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R5年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		令和3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R6年度	R3年度(繰越)	
	予算の状況	(a)当初予算額	16,280	0			
		(b)予算現額	16,500	0			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	0	9,770			
	A. 計(b+d)		16,500	9,770			
	B. 執行済額		6,510	9,770			
	うち交付金充当額		5,200	7,824			
	次年度繰越額		9,770	0			
	執行率(%) (B/A)		40.0%	100.0%			
予算の状況の説明		R3年度の当初予算額は16,280千円で計上したが、新型コロナ等の影響に伴い、調整等に不測の日数を要したため、令和4年度へ9,770千円繰り越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	各所への案内看板の設置。(島内10箇所、星野洞内12箇所)		目標	設置			
			実績	設置			
			目標				
		実績					
達成状況説明	委託業務をR3年度からR4年度へ繰り越して事業を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R5年度)
	観光案内板の設置完了:22基		目標	(22基)	()	()	()
			実績	22基			
	利便性が確保できているか、観光客へアンケートを実施し、満足度80%		目標	()	()	()	(80%)
			実績				
進捗状況説明	新型コロナ等の影響に伴い、調整等に不測の日数を要したが、令和4年度に繰り越し、観光案内板22基を設置した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	観光案内の看板が未整備で、観光地への誘導が不十分であることから、各所に案内看板を設置し観光客の受入環境を整備する必要がある。	各所に案内看板を設置し、観光客の受入環境を整備し、更なる観光産業の振興を図る。
今後の取り組み方針		
本事業が完了したことにより観光客へのアンケートを実施し、満足度80%以上を目指し、どのようなところが不満であるかを確認し、引き続き、観光協会と共有しながら改善と解消を図っていく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
16,280	16,280	13,024	3,256	



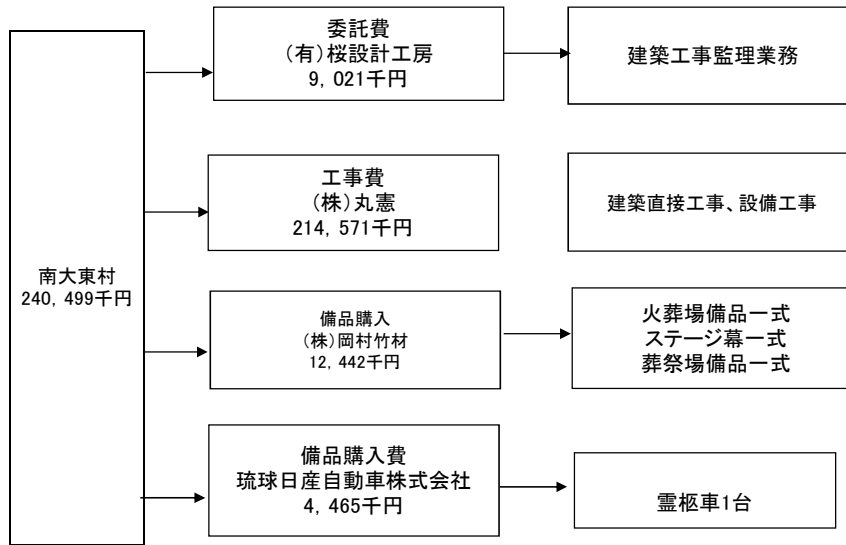
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務は指名競争入札により実施し妥当であると考え
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模内容及び費用・目的は事業に見合った内容で
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	あり、事業目的に必要不可欠な経費である
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもの なのか等については額の確定時において検査、確認しており、 適正であった。

市町村名		南大東村					
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-① 南大東村安らぎ空間複合施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(11)-イ		
	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上						
担当部課名	福祉民生課	事業実施(予定)年度	H30～R3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-9	
事業内容	本村には葬祭場がないため各自宅で葬儀を行っているが、準備等は地域の住民の協力でされており、遺族や関係者に負担がかかっている。そのため、葬祭場等の複合施設を整備し、住民福祉の向上を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和5年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R3年度(繰越)	
		(a) 当初予算額	23,279	233,024	199,438	213,056	0
	(b) 予算現額	40,328	226,485	194,438	247,002	0	
	(c) 増減額(b-a)	17,049	▲ 6,539	▲ 5,000	33,946	0	
	(d) 繰越額	24,416				4,465	
	A. 計(b+d)	40,328	226,485	194,438	247,002	4,465	
	B. 執行済額	40,328	189,852	186,196	236,034	4,465	
	うち交付金充当額	32,262	151,881	99,257	188,827	3,572	
	次年度繰越額				4,465		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	83.8%	95.8%	95.6%	100.0%	
予算の状況の説明	R3年度の当初予算額は213,056千円で計上したが、備品購入費の追加と工事費において請負業者の渡航費用及び滞在費の実費精算に伴い、予算を増額した。又、備品(霊柩車)については新型コロナ等の影響に伴い、車輛の部品等の遅れが生じたため、令和4年度へ繰り越した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	監理業務完了		目標 (基本計画・基本設計・実施設計)	(監理業務)	(監理業務)	(監理業務)	
	実績		基本計画・基本設計・実施設計完了	着手	継続及び完了	完了	
第3期工事(建築工事、設備工事)、備品購入の完了		目標 ()	(第1期分建築工事)	(第2期分建築工事)	(第3期分建築工事及び備品購入完了)		
実績			着手	継続及び完了	完了		
達成状況説明	第3期建築工事及び監理業務、備品購入(火葬場備品一式、ステージ幕一式、葬祭場備品一式)を令和3年度内に実施し、霊柩車は繰り越して令和4年度に購入した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R5年度)
	建築直接工事、電気設備直接工事、機械設備直接工事、備品購入完了		目標 ()	(第1期、建築直接工事、電気設備直接工事、機械設備直接工事完了)	(第2期、建築直接工事、電気設備直接工事、機械設備直接工事完了)	(第3期、建築直接工事、電気設備直接工事、機械設備直接工事、備品購入完了)	()
	実績			完了	完了	完了	
	【参考指標】複合施設の火葬場利用件数に対する葬祭場利用件数の割合80%以上。		目標 ()	()	()	()	(80%)
実績							
進捗状況説明	第3期建築工事及び監理業務、備品購入(火葬場備品一式、ステージ幕一式、葬祭場備品一式)を年度内に完了し、霊柩車は繰り越して令和4年度に購入し、事業を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本村には、葬祭場がないため各自で葬儀を行っているが、葬儀に係る準備等は地域の住民の協力で行われており、遺族や関係者に負担がかかっている。又、既存の火葬場も築40年以上が経過しており老朽化が著しく進行しており、早急な整備が必要である。	葬祭場と火葬場の複合施設を整備することにより葬儀に係る遺族や関係者の負担軽減を図る。
今後の取り組み方針		
葬祭場と火葬場の複合施設を整備することにより葬儀に係る遺族や関係者の負担軽減を図ると共に複合施設の機能強化を図る。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
240,499	240,499	192,399	48,100	



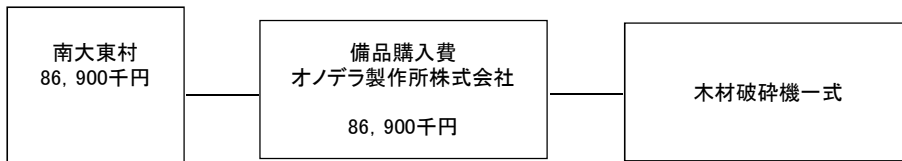
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務、建築工事、備品購入は指名競争入札により実施し妥当であると考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模内容及び費用・目的は事業に見合った内容であり、事業目的に必要な不可欠な経費である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○複合施設を整備したことにより、葬儀に係る遺族や関係者等のみならず、地域住民においても負担軽減につながる事が想定され妥当と考えられる。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。

市町村名	南大東村						
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	循環型農業推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ		
担当部署名	産業課	事業実施(予定)年度	R3~R6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	本村はサトウキビ作農業を主体としているが、畜産農家が少ないなどで、堆肥原料の確保が課題となっていることから、台風等で折損、倒木した防風・防潮林を破碎・チップ化するとともに、村内の自然池で大量繁殖している外来種の水草・泥炭等を除去して、破碎チップと水草等を混合し堆肥化することで、土壌改良による農業生産の向上と、暴風・防潮林帯の保全、自然池の環境保全を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R6年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	85,800				
		(b)予算現額	88,715				
		(c)増減額(b-a)	2,915	0			
		(d)繰越額		85,800			
	A.計(b+d)		88,715	85,800			
	B.執行済額			85,800			
	うち交付金充当額			68,640			
	次年度繰越額		85,800				
	執行率(%) (B/A)			100%			
予算の状況の説明		R3年度の当初予算は額備品購入費(木材破碎機一式)として85,800千円で計上したが、必要なアタッチメントの追加により予算を増額した。又、新型コロナ等の影響に伴い各部品等の調達と製作に遅れが生じ、令和4年度へ繰り越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	水草除去装置1機及び木材破碎機一式整備	目標	整備				
		実績	完了				
		目標					
		実績					
達成状況説明	新型コロナ等の影響により備品の製作及び部品調達に遅れが生じたため、繰り越して事業を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R6年度)
	水草除去装置1機及び木材破碎機一式整備	目標	(購入)	()	()	()	()
		実績	完了				
	【R6成果目標】 サトウキビ生産量 過去10年平均から5%増	目標	()	()	()	()	(5%増)
		実績					
	進捗状況説明	新型コロナ等の影響により備品の製作及び部品調達に遅れが生じたため、令和4年度に備品を購入し、事業を完了した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>毎年襲来する台風により暴風・防潮林帯が、大量の折損、倒木があり、ほ場及び周辺の農道、幹線道路へ散乱し除去と仮処分場の確保に苦慮している。</p>	<p>台風等による倒木を破砕しチップ化、池の水草及びさとうきびのトラッシュ(枯葉等)・パカスケーキ等を混合し散布することで、さとうきび生産の向上と、暴風・防潮林帯の保全に努める。</p>
今後の取り組み方針		
<p>土壌改良材としてチップ化した木材等の実証事業を実施した後は島内での土壌改良材の自製を可能とし、農業生産の向上を図っていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
86,900	85,800	68,640	17,160	1,100



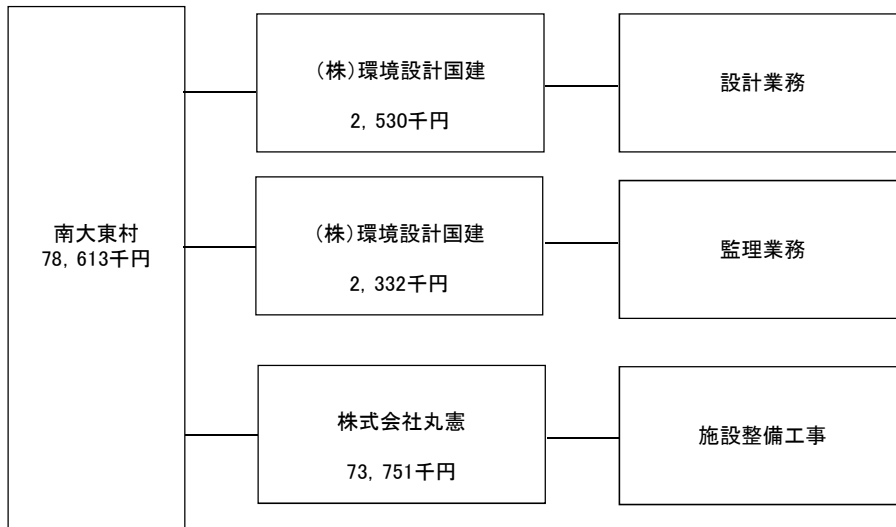
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○購入する備品を取り扱っている事業者は1社のみであるため、見積入札は妥当であると考え。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模内容及び費用・目的は事業に見合った内容であり、事業目的に必要な不可欠な経費である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南大東村						
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	大池周辺自然観察施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-ア		
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	R3~R4	沖縄振興基本方針該当箇所	生物多様性の保全		
事業内容	天然記念物である「大池のオヒルギ群落」等の野生動植物が生息する大池周辺の自然環境を活用するため、自然観察施設を整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R6年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R5年度	R6年度
		(b)予算現額	75302				
		(c)増減額(b-a)	78613				
		(d)繰越額	3,311	0			
		A.計(b+d)		78,613	78,613		
	B.執行済額			78613			
	うち交付金充当額			30241			
	次年度繰越額		78613				
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%			
	予算の状況の説明		R3年度の当初予算は75,302千円計上したが、主に工事費において請負業者の渡航費用及び滞在費の実費精算等に伴い予算を増額した。令和3年度は、新型コロナ等の影響により、設計業務の調整に不測の日数を要し、また、建築工事に伴う資材の搬入に遅れが生じたため、令和4年度へ全額繰り越しとなった。				
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	設計業務・管理業の実施	目標	実施				
		実績	済				
	建築工事の実施	目標	実施				
		実績	済				
達成状況説明	委託(設計業務、監理業務)及び建築工事は新型コロナ等の影響に伴い、不測の日数を要し、また、建築工事に伴う資材の搬入に遅れが生じたため、令和4年度へ繰り越し令和4年3月末をもって完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R6年度)
	設計業務・管理業の完了	目標	(完了)	()	()	(完了)	()
		実績	完了			完了	
	建築工事の完了	目標	(完了)	()	()	(完了)	()
		実績	完了			完了	
	【R6年度成果目標】 島内観光客数3,675人(過去4年平均から5%増)		目標	()	()	()	(5%増)
実績							
進捗状況説明	【自然観察施設(展望台)】 ・令和5年3月末に事業を完了し、同年4月から供用を開始している。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	南大東島の大池は沖縄県下最大の湖沼であり、その周辺には世界的にも珍しい内陸封鎖型のオヒルギ群落や、黄金色の体毛が美しい南大東島固有のダイオオコウモリが生息し、いずれも特別天然記念物である。又、季節毎に島外から飛来してくる野鳥及び、その他南大東島固有の生物も多数生息しており、それらの自然観察を行うポイントとして最も適している。よってそれらの貴重な自然観察を通し、学習することで環境保全を図り後世に継承していくと共に新たな観光スポットとして観光客の誘致を図る必要がある。	本事業を整備することにより、南大東島の大池周辺に生息する動植物等の自然環境の学習と保全を図りながら、観光スポットとしての機能強化を図っていく。
	今後の取り組み方針	
令和4年度の事業(繰越)では浮棧橋の整備を実施しており供用開始後、カヌー体験をとおしての自然観察と更なる観光客の誘致に向けながら施設の機能強化を図っていく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
75,302	75,302	60,241	15,061	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○設計業務及び建築工事は指名競争入札、監理業務は委託業務を適正に実施するため、設計業務を受託した業者と随意契約を行っており、選定方法は妥当であるとする。 ○予算規模内容及び費用・目的は事業に見合った内容であり、事業目的に必要な不可欠な経費である。 ○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	